



次のハバロフスクには汽車で行きました。列車車掌(ソ連は若い女性です)に何時頃着くのかと聞いたが、わからないという誠に大国的な返事です。到着すると市長の出迎えがあり、歓迎のメッセージを受けました。ハバロフスクはゴミが殆どなく、イチヨウの木が多く、空気の爽やかな街でした。建物は殆ど五階建のアパートで、一階は商店になつていました。又広告やネオンが無いのに驚きましたが、聞いてみるとソ連では国が管理し、品質標示表がついているので品物の宣伝の必要が無いからとのことでした。

ソ連の枕は座ぶとん大で、我々が見本市に持つて行つた枕は失敗でした。然し見本市ではハラショウ責めで、同志と呼ばれて握手を求められ、日本の商品に非常なあこがれを持つているようでした。おかげで大口の注文がまどまりました。特にメリヤス類は不足のようでした。貿易には沿岸、組合、公団の三種がありますが、我々は沿岸貿易で行つたのです。

むこうは夜9時半位まで明るくて夜が短く、冬はその逆です。又驚いたのはバーやキャバレーが全然無いことでした。若い人は公園を散歩する位です。

ハバロフスクからイルクーツクまではジェット機で3時間でした。機中で内緒で写真を撮ろうと思つたらカメラを取り上げられました。国できめられたことにはきびしいのです。イルクーツクは人口約40万、昔は工業都市でしたが今は変り、大学が7、学校が100以上あるそうです。女子大生に聞いたら、彼女達は毎月国から36~45ルーブルの学資を貰うとのことでした。又混血人が多いのですが少しも意に介していないようでした。

ソ連のノルマ制は働く者の収入を増し、従つて工業生産を伸ばす力になつています。最近では私有財産を認めるようになり、別荘を持つ者も現われました。銀行預金にも年4%の利子がつくようになり、事業計画をたてて委員会をパスすれば融資も受けられるので銀行利用者もふえてきました。又病院は他国人でも一切無料です。然し治らなければ帰れませんから御注意を。

ブラーツクは大きな変電所はあるが貧村でした。住民はモスクアに行きたがるので、ブラーツクでは割増し賃金を与える政策をとつていました。

今回の旅行の感想として、ソ連人はみな祖国が偉大であると威張つていたこと、日本人を尊敬していること、貿易はまだまだ伸びるだろうと思ひました。

出席報告

- 1. 本日の状況 会員数29名 出席19名 欠席10名
- 2. 前回の確定出席率 82.76% (29名中24名出席)  
     メーク・アップ 青柳君 飯田貢一君 神原君  
     欠席者 今宮君 成田君 塚田君 山形君 宮崎君
- 3. 他クラブの状況 函館95.37% 函館東93.33%

本日のプログラム

卓話 少年刑務所について 花田 所長

- 司会 飯田 会長
- 斉唱 君が代 奉仕の理想
- ゲスト 布目賢治君(野村会員の)
- ビジター 小松清君(小樽南 保存食料品製造)  
           谷義一君(森 電気工事)  
           河村定勝君他10名(函館) 花戸栄次郎君他6名(函館東)

幹事報告

例会終了後定例理事会を行ないます

ニコニコ箱

- 1. お誕生日おめでとう  
    市川君(8日) 宮崎君(8日) 俣野君(10日) 北村君(14日)  
    外山君(17日) 飯田貢一君(24日) 深瀬君(29日)

御結婚記念日おめでとう

今宮君 船矢君 石橋君 成田君 西村君

出席報告

- 1. 本日の状況 会員数29名 出席21名 欠席8名
- 2. 前回の確定出席率 82.76% (29名中24名出席)  
     メーク・アップ 青柳君 今宮君 遠藤君 成田君 戸栗君  
     欠席者 船矢君 藤野君 山形君 外山君 塚田君
- 3. 他クラブの状況 函館91.77% 函館東90.67%

350地区に63番目のR.C誕生

中頓別(なかとんべつ)R.C.が9月6日に承認されました。会員数26名で、毎週水曜日に例会、例会場は中頓別町公民館、会長谷口雅二氏、幹事山上登氏です。





通算才139号

1996~1967-11-9

函館北ロータリークラブ

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

第123回例会

本日のプログラム

卓話 海洋の国際研究、北大水産学部教授 元田茂氏

司会 成田副会長 斉唱 我等の生業

ゲスト 花田馨氏(函館少年刑務所長)

ビジター 小畑清一君(森 家具量販売)

黒崎弘二君他9名(函館) 鉾谷尚君他14名(函館東)

弔 意 成田副会長

東クラブ会員大道寺小次郎先生が、8日午前3時7分にお亡くなりになりました。全員黙とうを捧げたいと思います。(一同起立黙とう)

新入会員紹介 (布目賢治君) 野村宣市君

幹事報告

1. 1966年のデンバー年次大会の議事録が参りました。公式名簿と共に事務に保管しておきますので御覧下さい。

2. 当クラブで月間出席率100%に満たなかつた会員は、7月10名、8月15名、9月8名、10月12名でした。頑張つて下さい。

3. インターアクト・クラブ結成の準備委員長として勝木さん(函館タ)、副委員長として渡辺(函館東)、外山(函館北)の両氏がきまりました。

4. 例会終了後理事会を行ないます。

インターアクト・クラブについて 外山定雄君

インターアクトはインターナショナルアクションの略で、国際的行動(活動)の意味です。トーマスが1959年につくつたのが初めて、日本では仙台の育英高校と京都の西商業高校が始めてです。現在(6月30日)世界48ヶ国に1351クラブ、日本では115クラブ、2800名です。函館では三クラブ合同でラ・サール高校が良いだろうとのことで話がすすみ、12月始めに発会式の予定です。目下66名の申込みがあります。

森岡東クラブ会長の挨拶

大導寺先生は私共のクラブに入つて3年、立派な方を失つて残念です。皆様から御丁重なる黙とうをいただき有難うございました。

スライド映写

高田会員提供

日本生産性本部企画、製作の「経営組織シリーズ」より

1. 組織と人

ある会社の総務部長が退職しました。その後任人事をめぐつて、阿部及び浅川常務の見解は次のようなものでした。智識、能力からみると上田総務課長が最適である。然し年令的に白井販売課長を無視出来ない、更に上田課長を登用した場合に2年先輩の内山企画課長も問題になる。誰をもつてゆか、幹部会に計つても意見続出で、結論が得られず、社長の裁断を仰ぐことになりました。その結果、阿部常務が総務部長兼務となり、上田課長を部長代理とし、一見問題は解決したかに見えました。然し上田部長代理は多忙をきわめ、内山課長は後輩に追い越された感じを持ち、総務課の主席係長は課長の期待がはずれたことになりました。日本の人事はどうしても年功序列主義になりがちです。人か職能か、めんどうな問題です。どうしたらよいのでしょうか。

2. 責任と権限

山田社長はあるレセプションで友人から注意を受けました。「君の会社の小型ルームクーラーは故障が多くて困る」と。社長は直ちに調査を命じました。原因はコンプレッサーの不良と判明しましたが、工場長の返事は緊急調査中であるとのことで、更に調査を進めてみると、製造課では設計通りやつたから手落ちはない、設計課では販売部の要求通り作った、販売部では決して無理ではない、故障するのはおかしい、保管も万全である、検査課では急がされたから充分テストは出来なかつたが、と主張します。そこで各部門から出て調査委員会を開きましたが結局責任のポイントはわからず終いになりました。この場合どこに責任があつたのでしょうか、むづかしい問題です。

3. ラインとスタッフ

工場を見廻つた安全係長は、現場に危険を感じたので製造課長に申し入れを行ないました。然し現場では採り上げてくれません。安全係長は工場長に上申し、そこで改めて審議がなされました。製造課長の意見は大丈夫だろうとのことで、この多忙な中に工場を休んで修理をし、生産をへらすわけにゆかないと断が下りました。一体安全課はどうすればよいのでしょうか。ライン側とスタッフ側にはそれぞれ意見、不平があり、くい違い勝ちです。監査の場合など、進言は告げ口と誤解され易いものです。このようなことはあらゆる階層にあります。ラインとスタッフがお互いに理解されるような正しいあり方とは、一体どのようなものでしょうか。

○ 次週の例会日は11月16日で、23日は祭日のため休会です。